

九州電力の火山活動のモニタリング評価結果

令和6年度の川内原子力発電所に係る火山活動のモニタリング評価結果が公表されました

九州電力は九州内の5つのカルデラ火山を対象に、噴火履歴の特徴などから、発電所運用期間中における破局的噴火の可能性は十分低いと評価しており、この評価結果については、国の新規基準適合性審査において確認されています。

同社は、5つのカルデラ火山の活動状況に変化がないことを継続的に確認するため、平成27年度からモニタリングを実施し、その結果について、火山専門家の助言を得たうえで評価を行っています。

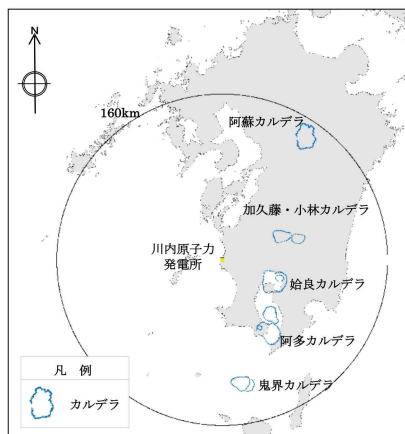
火山モニタリング評価結果について

- 5つのカルデラ火山すべて、活動状況に変化はなく、破局的噴火が発生する可能性は十分小さいと評価

【モニタリングの概要】

- 活火山に関する公的機関（火山調査研究推進本部、国土地理院、気象庁など）の評価及び九州電力の評価（地殻変動、地震活動）に基づき、カルデラ火山の活動状況の変化を総合的に評価

九州電力のモニタリング評価結果については、毎年、原子力規制委員会に報告されており、令和6年度の結果については、令和7年11月に開催された同委員会の火山部会において、妥当と評価されています。



〔5つのカルデラの位置〕

令和7年度
第2回

原子力安全対策連絡協議会を開催しました



日時 令和7年8月25日(月)
午後2時～3時

場所 アートホテル鹿児島

構成委員

鹿児島県	知事	議長
薩摩川内市	市長	議長
いちき串木野市	市長	議長
阿久根市	市長	議長
県漁業協同組合連合会	会長	議長
県農業協同組合中央会	会長	議長
県商工会議所連合会	会長	議長
県商工会連合会	会長	議長
県医師会	会長	議長

川内原子力発電所周辺の住民の安全と環境の保全を図るため、「原子力安全対策連絡協議会」を年4回開催しています。知事の進行のもと、環境放射線調査結果等について協議などが行われました。

川内原子力
発電所周辺の

環境放射線調査結果



県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前から、周辺地域の空間放射線量や、周辺で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質の測定を行っています。

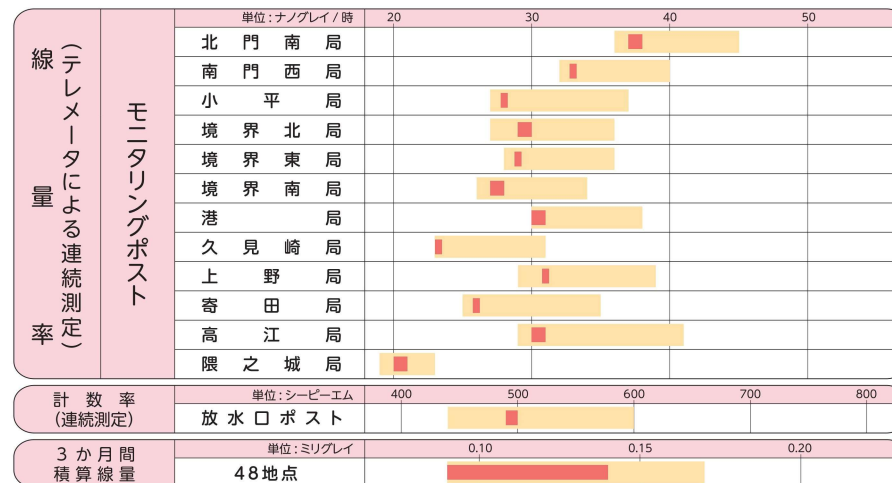
空間放射線量の測定

(令和7年4月～6月)

モニタリングポスト(42局*)の空間放射線量と、発電所の放水口ポスト(1局)における海水中の放射線量を、テレメータシステムを用いて常時監視しています。また、発電所周辺の48地点において、3か月間の積算線量の測定を行っています。

*県はその他、緊急時に備えた電子式線量計を64地点に設置しています。

今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。



環境試料の放射能分析

(令和7年4月～6月)

人工の放射性物質であり、環境における蓄積や被ばくの観点から重要なセシウム137、コバルト60、ストロンチウム90、ヨウ素131等について分析しています。今回は海洋試料11試料、陸上試料33試料、合計44試料を対象としています。

今回の調査結果は、これまでと同様、過去に実施された大気圏内核実験等による影響と考えられる、ごく微量のセシウム137、ストロンチウム90が検出されていますが、異常は認められませんでした。



今回の調査結果については、県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 環境放射線調査結果

検索



空間放射線量の測定結果については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。

鹿児島県 環境放射線テレメータ

検索

